

令和元年度 事務事業評価(平成30年度実施事業事後評価)シート / 令和2年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報										整理番号	103									
事務事業名	スポーツ大会開催事業費					補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	10	項	06	目	01	事業	05
担当部	教育委員会	担当課	スポーツ振興課		担当係	振興		係												
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: 常総市スポーツ推進計画)					根拠法令及び市条例等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: スポーツ基本法) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称:)													

2 事務事業の目的																			
当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。																			
現状課題	国民体育大会や東京オリンピック開催を控え、スポーツに対する注目が集まるなか市民はもとより県内外から多くの参加者が集まり、市の交流人口の増加と活性化が図れるイベントを企画開催していく必要がある。					誰・何を対象に	常総市民及び県内外からの参加者を対象に												
						どのような方法・手順で	地域の特色や利点を活かし魅力あるスポーツ大会・スポーツイベントの開催を指定管理者やイベント企画会社など民間と協働して企画し、広報お知らせ版、HPやSNSなどを活用し、開催に向けて市内外に広く発信していく。												
望ましい状態	子供から高齢者までそれぞれの目的に合わせて、市内のスポーツ団体と協働して開催し市民が積極的に参加することで、市民が生き生きと活動できる機会を促進し地域の活性化に寄与する。																		

3 事務事業の主たる成果指標										
数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。										
指標名	大会参加者	単位	人	目標値	2,500	目標年次	2020	年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	募集定員数の合計を目標値として設定

4 事務事業の実績 ㉠															
当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。															
年度	平成28年度				平成29年度				平成30年度						
	業務名		活動量		業務名		活動量		業務名		活動量				
事務事業を構成する主な業務	①	第43回市長杯争奪国体記念ハンドボール大会	420人	①	第44回市長杯争奪国体記念ハンドボール大会	450人	①	第45回市長杯争奪国体記念ハンドボール大会	460人	②	第47回・48回市民グラウンドゴルフ大会	140人			
	②	第43回・44回市民グラウンドゴルフ大会	300人	②	第45回・46回市民グラウンドゴルフ大会	271人	②	第47回・48回市民グラウンドゴルフ大会	140人	③	市民歩く会	85人			
	③	日本体育大学集団行動会	600人	③	市民歩く会	中止	③	市民歩く会	85人	④	親子deいきいきスポーツフェスタ	1521人			
	④	市民歩く会	97人	④	親子deいきいきスポーツフェスタ	1250人	④	親子deいきいきスポーツフェスタ	1521人	⑤	第14回近県中学校ハンドボール大会	370人			
	⑤	親子deいきいきスポーツフェスタ	1280人	⑤	第13回近県中学校ハンドボール大会	300人	⑤	第14回近県中学校ハンドボール大会	370人	⑥					
	⑥	復興祈願<絆>駅伝大会	300人	⑥			⑥			⑦					
	⑦	第12回近県中学校ハンドボール大会	350人	⑦			⑦			⑧					
	⑧			⑧			⑧			⑨					
	⑨			⑨			⑨			⑩					
	⑩			⑩			⑩			⑪					
	⑪			⑪			⑪			⑫					
	⑫			⑫			⑫								
目標値に対する実績値		3347 人		目標値に対する実績値		2271 人		目標値に対する実績値		2576 人					
決算額	計	6,134,245 円	内訳	特定財源	1,022,100 円	計	1,973,032 円	内訳	特定財源	941,700 円	計	1,963,521 円	内訳	特定財源	930,900 円
				一般財源	5,112,145 円				一般財源	1,031,332 円				一般財源	1,032,621 円
		(住民一人あたりの行政コスト)		101 円		(住民一人あたりの行政コスト)		33 円		(住民一人あたりの行政コスト)		33 円			

5 担当者評価 ㉡									
実施したことによる成果や問題点を記入してください。									
成果	目標どおり	成果内容	子供から高齢者までを対象とし、市内スポーツ団体と協働しスポーツの普及と地域活性化を目的とした事業や競技力向上を目的とした事業の実施。また、健康増進を目的とした事業を例年通り開催する事が出来た。						
問題点			・恒例のスポーツ大会への参加者は減少傾向にあり、開催内容を検討しなければならない時期となっている。 ・1巡目の国体を記念し開催していた競技力向上のためのハンドボール大会が、国体開催2巡目を迎え、更なる活性化に向けた方法を検討しなければならない。						

6 担当部長及び担当課長評価 ㉢									
担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。									
事務事業の方向性									
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止									
評価理由	国体開催年度を迎え、市民のスポーツイベントへの関心が深まっている。恒例事業の開催に加え、地域の地理的特色を生かした新たなスポーツイベントの創出が必要である。								

7 実施計画 ㉣																		
今後3年間の事業内容について、どのようなことを・どの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。																		
年度	令和元年度				令和2年度				令和3年度									
事業内容	①	第46回市長杯争奪国体記念ハンドボール大会			①	第1回国体記念ハンドボール大会			①	第2回国体記念ハンドボール大会								
	②	第49回・50回市民グラウンドゴルフ大会			②	第51回・52回市民グラウンドゴルフ大会			②	第53回・54回市民グラウンドゴルフ大会								
	③	市民歩く会			③	市民歩く会			③	市民歩く会								
	④	第15回近県中学校ハンドボール大会			④	第16回近県中学校ハンドボール大会			④	第17回近県中学校ハンドボール大会								
成果指標	指標名	大会参加者	単位	人	目標値	2,500	指標名	大会参加者	単位	人	目標値	2,500	指標名	大会参加者	単位	人	目標値	2,500
予算額	歳出	計			650 千円	歳出	計			481 千円	歳出	計			351 千円			
		特定財源			千円		特定財源			千円		特定財源			千円			
	歳入	一般財源			650 千円	歳入	一般財源			481 千円	歳入	一般財源			351 千円			
		計			650 千円		計			481 千円		計			351 千円			

8 財務アドバイザーの見解									
『常総市財政健全化計画』では、2017～2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については本実施計画の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。									

9 行政改革懇談会(市民)の意見									
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。 ただし、既存の大会参加者が減少傾向であるならば、事業内容を精査、分析し、既存の大会の見直しも含め、新たなスポーツ大会を開催するなどの検討も必要である。									

10 最終評価(行政改革推進本部) ㉤									
事務事業の方向性									
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止									
評価理由	それぞれの年代にあった大会を開催しているので、継続すべき事業とする。今後とも、既存大会の見直しと合わせ、参加者が増えるよう努めること。								

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ㉥									
実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。									
事業内容	これまで、昭和49年茨城国体開催を記念して開催してきた中学校ハンドボール大会を、今年の茨城国体を機に一旦終了し、来年度から新たな国体記念として開催していく。その際、守谷市・坂東市と3市で国体を開催したことを踏まえ、3市合同でのハンドボール大会にしていく。予算・事務・会場を出し合い、スポーツでの広域連携の第一歩としたい。								